

講義科目 : 社会学 (69・68 期生)	単位数 : 2
担 当 : 松田 いりあ	学習形態 : 選択科目

講義の内容・方法および到達目標

・ 21 世紀の現代、19 世紀から 20 世紀にかけて社会を支えてきた条件-とりわけ雇用、家族、コミュニティ-が再編される時期を迎えて久しい。この授業では、かつて自明と思われてきたことがらを社会的に検討し直すことによって、21 世紀の社会でともに生きる方法を探究する。

・ 授業は基本的に講義形式で行うが、随時、授業内課題を実施し、提出された課題をもとに、受講生とともに考える機会を設ける。

・ この授業では、受講生が現代社会の課題を知るだけでなく、自分自身で社会問題を把握し行動できるようになることが目標である。

授業計画

- 第 1 回 はじめに：この授業のねらいの説明
- 第 2 回 社会学とは何か (1) : 伝統社会・近代社会・現代社会
- 第 3 回 社会学とは何か (2) : 社会問題と社会学
- 第 4 回 近代的自我と社会
- 第 5 回 近代家族
- 第 6 回 人口の変化
- 第 7 回 ジェンダーおよびセクシュアリティ
- 第 8 回 授業内課題 (1)
- 第 9 回 脱産業社会とポスト近代社会
- 第 10 回 グローバル化
- 第 11 回 雇用と組織
- 第 12 回 階級と格差
- 第 13 回 生産社会と消費社会
- 第 14 回 現代社会のゆくえ
- 第 15 回 まとめと授業内課題 (2)

教材・テキスト・参考文献等

使用しない。授業中に適宜指示する。

成績評価方法

レポート 70%、授業内課題 30%

※成績評価の対象者になるためには、規定の出席回数を満たす必要がある。